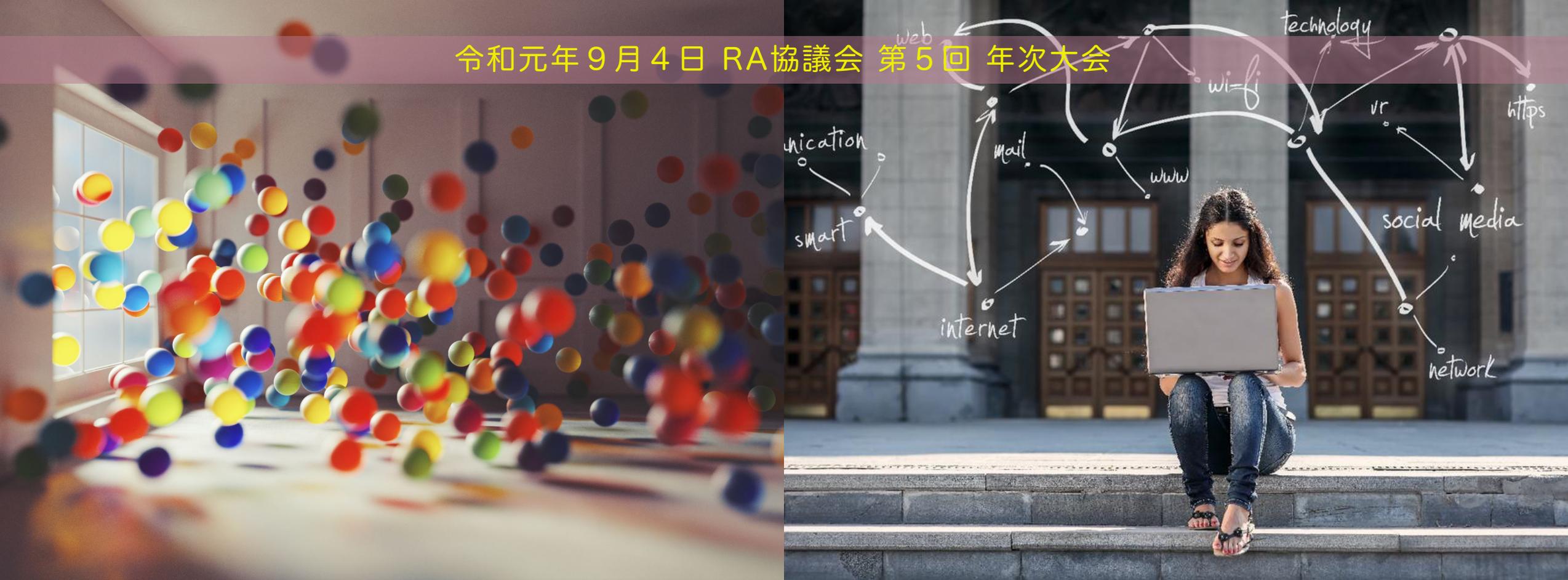


令和元年9月4日 RA協議会 第5回 年次大会



“SDGs 4+/11” お茶の水女子大学の取組み

お茶の水女子大学 理事・副学長（国際交流 & 男女共同参画担当）
佐々木 泰子

SDGs 軽視の怖さ知れ

PwC Japan グループ顧問 笹谷 秀光

2015年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、今や経営者として外せない論点になった。経営要素の全てに絡むので、社内全部署に関連する経営課題である。トップが重大な関心を寄せなければ、その企業は市場からそっぽを向かれる。日本企業の経営者はそんな認識を持つべきである。

SDGsは、持続可能な社会づくりについて語る世界の共通言語といえる。17の目標と169のターゲットで構成され、先進国も途上国も、政府も企業も、いずれも30年を目標に自主的に取り組むよう求められている。企業にはその革新力による社会課題解決を通じ、共通価値の創造が期待されている。投資家も環境

や企業統治を考慮した「ESG投資」を増やし、企業のSDGsへの取り組みを判断の1つの指標として使っている。非上場企業も取引先の上場企業に取り組みを求められるだろうから例外ではない。注意してほしいのは、SDGsが自主的な取り組みを基本に据えていることである。地球規模の危機的状況に対し、やれる人がやれるところからすぐに着手しようというルールだ。ぼーっとしていれば置いていかれ、どんどん差がつく。欧米に置いていかれ、先進的な企業に置いていかれる。横並び思考から抜け出し、すぐに何をすべきか考えなければいけない。まず17の目標を見渡してほしい。企業統治や環境対応のみならず、働き方改革、ブランディング、地域社会などカバリー範囲は極めて広い。これをビジネスチャンスにするもの、リスク回避になるものなどで選別し、自社で重点的に取り組む目標を決めることである。SDGsはミレニアル世代の関心も高く、軽視すれば新たな需要の芽を見失う。一方、グローバル企業がこぞって取り組む中で活用しなければ、国際入札はじめ世界市場で蚊帳の外に置かれる。企業経営をSDGsに即したものでできれば、企業価値を高め、国際競争に打ち勝つことができる。社内では社会問題解決型のイノベーションが期待でき、従業員もモチベーション向上にもつながるだろう。企業には一刻も早くSDGsの解説を終え、経営への活用を進めてもらいたい。

私見
卓見

当欄は投稿や寄稿を通じて読者の参考になる意見を紹介します。〒100-8066東京都千代田区大手町1-3-17日本経済新聞社東京本社「私見卓見」係または kaisetsu@nex.nikkei.com

kei.comまで。原則1000字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。添付ファイルはご遠慮下さい。趣旨は変えずに手を加えることがありません。電子版にも掲載します。

注意してほしいのは、SDGsが自主的な取り組みを基本に据えていることである。地球規模の危機的状況に対し、やれる人がやれるところからすぐに着手しようというルールだ。ぼーっとしていれば置いていかれ、どんどん差がつく。欧米に置いていかれ、先進的な企業に置いていかれる。横並び思考から抜け出し、すぐに何をすべきか考えなければいけない。

I. 背景（グローバル社会のダイナミズム）

1. 持続可能な開発のための2030アジェンダと持続可能な開発目標（SDGs）

- ❖ 2015年9月、国連持続可能な開発サミットで採択
- ❖ 「極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題」
「だれ一人取り残さない」
- ❖ 17目標・169ターゲット・指標。社会・経済・環境の側面
- ❖ 途上国・先進国を含む普遍的目標
- ❖ 各国政府による計画策定と取組み
- ❖ NGO、民間企業、地方政府による取組み

2. 日本政府の取組み

➤ 「拡大版SDGsアクションプラン2019」（SDGs推進本部、2019.6）

- ❖ 3本柱：society 5.0（イノベーション）、地方創成、次世代・女性のエンパワメント
- ❖ 7分野：質の高いインフラ、防災、海洋プラスチックごみ、気候変動、女性、保健、教育
- ❖ 女性
 - 国際女性会議（World Assembly on Women, WAW!）
 - （国内）女性活躍推進
 - （国際協力）女性・平和・安全保障、女子教育、女性起業家
- ❖ 教育
 - （国内・国際協力）イノベーションを生み出すための教育、イノベーションによる教育

3. 教育機関（大学）の取組み推進（例）

➤ SDGs関連の競争的資金

- ・ JST 「SDGsの達成に向けた競争的研究開発プログラム」
<https://www.jst.go.jp/ristex/examin/sdgs/solve.html>
- ・ 文科省 「SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業」
<http://www.mext.go.jp/unesco/018/1416144.htm>

4. その他

➤ Times Higher Education の大学SDGsランキング (University Impact Ranking)

□ 評価対象

- 研究 (論文) …Data source: Elsevier
- 教育 …大学からの情報
- 社会貢献 …大学からの情報

※大学は、SDGs 11ゴール (17ゴールのうち大学と関係が深いゴール) から、最低4つのゴールを選ぶ ⇨ “SDGs 4+/11”

➤ 日本の大学の100位以内ランクイン（2019年5月31日）

□ 総合ランキング …48位 京都大学； 52位 東京大学； 91位 慶応義塾大学

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ○ゴール4（質の高い教育） | …62位 神田外語大学 |
| ○ゴール5（ジェンダー平等） | …(なし) |
| ○ゴール8（働き甲斐も経済成長も） | …39位 京都大学、53位 東京大学、他 |
| ○ゴール10（各国内・国間の不平等の是正） | …82位 宇都宮大学 |



え〜っ、お茶の水女子大学はどこに？

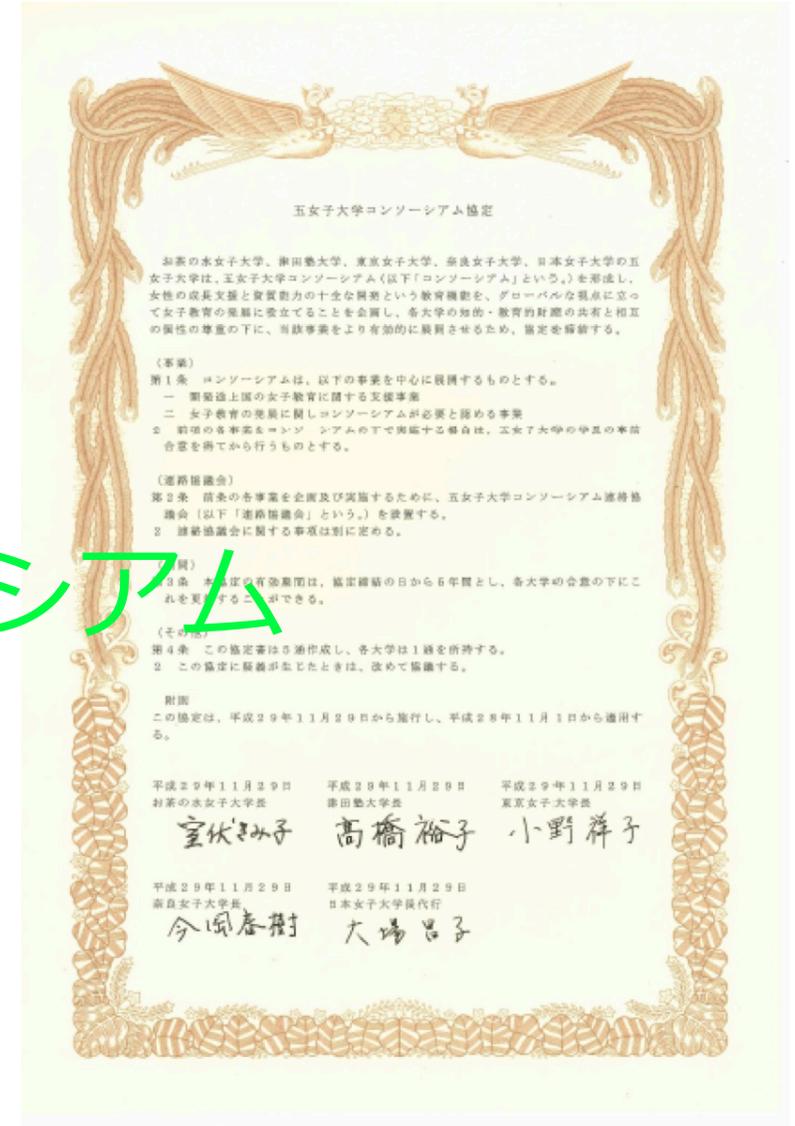
II. お茶の水女子大学の取組み (グローバル社会への積極的関与に向けて！)

1. グローバル協カセンターの取組み

- ゴール4「教育」、ゴール5「ジェンダー」、ゴール10「不平等」、ゴール16「平和」
 - ❖ 乳幼児ケアと就学前教育研修（アフリカ・中東諸国）
 - ❖ アフガニスタン留学生の受け入れと女性教員（指導者）短期研修
 - ❖ アフガニスタン絵本・図書館活動（シャンティボランティア会連携）
 - ❖ 学生自主活動（ラオス教育支援、シリア女性難民支援、途上国の栄養問題支援、等）



五女子大学コンソーシアム



(i) 日本の女子教育の歴史と経験を踏まえたプログラム作成

- 過去に日本が経験してきた女子教育における困難な経験の共有
- 女子の不就学の原因についての比較検討(親の意識、家事、貧困、早婚等)
- 戦後日本の教育再建の経験を共有(学校施設・設備の整備、教員の確保、教育の質の改善)

(ii) 女性指導者の招聘

- 女子教育の再建においては、文化的な配慮からも、女性教員の役割が重要
- 女性教員の活躍のためには、教育行政、学校現場において、指導的な役割を果たす教員等の育成が重要

お茶の水女子大学における多様な取組み

【アフガニスタン関連】

留学生受け入れ

講演会・
シンポジウム

野々山基金に
よる短期研修

『学ぶ意欲のある全ての女性にとって、
真摯な夢の実現の場として存在する。』

教材作成・
配付

NGOとの連携による
絵本作成、図書館活動

中西部アフリカ
幼児教育研修

途上国・国際協力
に関する教育活動

【途上国全般】

2. グローバル女性リーダー育成研究機構の取組み

➤ ゴール4「教育」、ゴール5「ジェンダー」、ゴール10「不平等」、ゴール16「平和」

① ダイバーシティ推進（例）

- ❖ お茶大インデックス調査
- ❖ ワークライフバランスの推進
 - * 平成30年度「東京都女性活躍推進大賞」（教育部門）受賞
- ❖ 子育て中の女性研究者を支援する研究補助者の配置
- ❖ 学内研究者に対する一時支援
- ❖ 学内に保育所を附置
- ❖ みがかずば研究員制度の創設
- ❖ 事務職員の早出・遅出勤務導入



② 研究開発（例）

- ❖ アジアにおけるリーダーシップ特性：梨花女子大学との共同研究、グローバル女性リーダーシップに関する学際的研究、職場での女性活躍推進に関する調査、日伊大学生のリーダーシップに関する意識調査他
- ❖ リーダーシップ育成プログラムの開発・実践と教育効果検証指標の開発・活用
- ❖ 2019 NAFSA Women's Colleges & Universities IIG – Open Meeting “Interaction, Immersion, and Integrity” 報告
- ❖ “Language, Feminist Research, and Society in the 1960s: Implications for Female Leadership” シンポジウム
- ❖ “The Year of the Woman? Women's Political Participation in the United States” Webinar
- ❖ “Women's Leadership and Participation in Politics and Economics in Japan” Workshop

3. 授業における取組み（例）

関連する SDGs	科 目	拡大 AP2019
Goal 1 「貧困」 Goal 5 「ジェンダー」 Goal 10 「不平等」 Goal 13~15 「環境」等	「21 世紀型文理融合リベラルアーツ」 ・ 「生命と環境」 ・ 「生活世界の安全保障」 ・ 「ジェンダー」	
Goal 2 「栄養」	「公衆栄養学」「国際栄養学」	
Goal 3 「教育」	「教育・発達心理学概論」「幼児教育学原論」等	幼少期からの質の高い教育
	「初等科教育法（算数）」「同（理科）」等	STEM 教育
Goal 16 「平和」	「平和構築論」「国際政治経済論演習」	
Goal 1 「貧困」 Goal 5 「ジェンダー」 Goal 10 「不平等」 Goal 17 「パートナーシップ」等	「国際協力論」「国際協力特論」「NPO 入門」等	
(Goal 横断)	「お茶の水女子大学論」 「女性リーダーへの道」 「ブリチストン共同講座（社会連携）未来起点ゼミ」 「サマープログラム」	
	「人工知能論」「ヒューマンインターフェース」	Society 5.0



お茶の水女子大学は、創立以来「学ぶ意欲のある全ての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」という理念の下に、女性も男性も自由かつ平等に活躍できる多様で豊かな人間社会を実現するという使命を果たしていくことを目指してきました。そして仕事（研究）環境、勤務体制を整備し、育児や介護などと両立して仕事を続けることができるよう様々な支援態勢を組織してきました。

お茶の水女子大学では、既に女性スタッフのQuotasが（教授職を除き）40%を超え、全ての範疇で「ガラスの天井」と目されるレベルを上回することは時間の問題と推定され、いよいよ世界最高水準にチャレンジする時機を迎えようとしています。



4. 今後に向けて

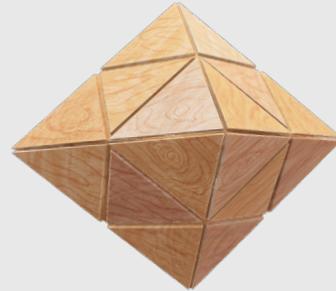
SDGs を全学的に身近なものとするだけでなく、これまでに地道に積み重ねてきた成果を積極的に情報発信し、学内外、地域・国内外と知識・経験を共有することを使命であると認識し、グローバル社会と連携・協働して「だれ一人取り残さない持続可能な平和な社会」の実現に取り組んでいきます。例えば、

- ✎ 国連アカデミックインパクトへの積極的参加
- ✎ ホームページに本学SDGs 取り組み特設サイトの設置
- ✎ THEへの資料提供
- ✎ 本学SDGs への取り組み市民講座の開催

などを検討しています。

- 近年、ユネスコなどの世界的な取り組みを見ると、SDGs 達成のために大学の役割がますます重要になってきていると報告されています。今や、大学は社会と距離を置いて客観的な教育研究に埋没するのではなく、政府や企業などと積極的に関わり、新たな地平を切り拓くために、強みである学生との関係性の中で、その使命を果たすことが求められています。
- お茶の水女子大学は、創立以来、社会を変革する女性リーダーの育成に努めてきました。これからも世界平和と人々の幸福に資すべく、グローバル協力センター及びグローバル女性リーダー育成研究機構を中心に、SDGsを核に、企業、地方自治体、様々な公共団体と連携して、持続的価値創造の教育研究を目指しています。





References

- [1] Cottafava, D., Cavaglià, G., & Corazza, L. (2019). Education of sustainable development goals through students' active engagement. *Sustainability Accounting, Management and Policy Journal*, 10(3), 521-544.
- [2] Owens, T. (2017). Higher education in the sustainable development goals framework. *European Journal of Education*, 52(4), 414-420.



ご静聴ありがとうございました！